もくじ

4章 再セットアップ 75

5章 アフターケア 87

付録 95

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

記号	意味
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 サイバーサポートへの参照の場合 …《　》 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system日本語版を示します。

Outlook 2003
Microsoft® Office Outlook® 2003を示します。

MS-IME　Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット 2003を示します。

サイバーサポート
CyberSupport for TOSHIBAを示します。

XP Pro モデル
Microsoft® Windows® XP Professional operating system日本語版が搭載されているモデルを示します。

ドライブ　DVDマルチドライブ／DVD-R/-RWドライブ／マルチドライブを示します。内蔵されているドライブはモデルによって異なります。

参照 ドライブについて『使ってみよう 1章 本体の機能』

DVDマルチドライブモデル
DVDマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

DVD-R/-RW ドライブモデル
DVD-R/-RWドライブが内蔵されているモデルを示します。

サイバーサポートボタン搭載モデル
サイバーサポートボタンが搭載されているモデルを示します。

CD-ROM LED
ドライブのLEDを示します。CD-ROM LED、FDD/CD-ROM LEDなどがこれにあたります。LEDはモデルによって異なります。

参照 システムインジケータについて『使ってみよう 1章 本体の機能』

Office 搭載モデル
Microsoft® Office Personal Edition 2003がプレインストールされているモデルを示します。

OneNote 搭載モデル
Microsoft® Office OneNote™ 2003がプレインストールされているモデルを示します。

記載について

・記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
モデルについては、「用語について」を参考にしてください。
・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、OneNote、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス、マイペンシルは、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2、マイペンシル /R.2 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、 CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2、マイペンシル /R.2 にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
・LaLaVoice、ekitanExpress、ConfigFree は（株）東芝の商標または登録商標です。
・The 翻訳、The 翻訳インターネットは、東芝ソリューション株式会社の商標です。
・Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
・Drag'n Drop はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
・駅すぱあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdate は Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は、Symantec Corporation の商標です。
©2004 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
・OpenMG はソニー株式会社の商標です。
・Java はサンマイクロシステムズ社の米国および他の国における登録商標または商標です。

・InterVideo、WinDVD、WinDVR、WinDVD Creator は InterVideo,Inc. の登録商標または商標です。
・infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
・BIGLOBE は日本電気株式会社の登録商標です。
・DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
・OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・ODN は日本テレコム株式会社の商標です。
・かるがるネットは株式会社アイコムジャパンの登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

・周辺機器を接続して本製品を使用している場合
・AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
・目安として、気温 5 ～ 35℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ず読んでください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うと表示されます。

① [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。

・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。

・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。

・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』またはインターネット経由で登録できます。

参照 詳細について『さあ始めよう 1章6 ユーザ登録をする』

『保証書』は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1章

トラブルを解消するまで

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。
サイバーサポートで情報を調べる方法や、「dynabook.com」の紹介もしています。
トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1　トラブルを解消するまでの流れ

パソコンが動かなくなった！今までとは違う動きをする！なんだか変！不安だ！
そんなときには次の順番でトラブル解消へのアプローチをたどってください。

パソコンの状態を確認してください。

- 電源は入りますか？
- 画面は表示されますか？
- タッチパッド／マウス、キーボードは操作できますか？

サイバーサポートで調べてください。

サイバーサポートは、パソコンの画面上で本製品の使いかたやトラブルの解消方法を見ることができるシステムです。
質問を入力して、Windowsやアプリケーションなどのヘルプを検索したり、インターネットへ接続してホームページ「dynabook.com」のFAQを検索できます。

参照 詳細について「本節 ❷ サイバーサポートで調べる」

本書の「3章 Q&A集」で調べてください。

パソコンについてよく問い合わせのあるトラブルの解消方法を、「電源を入れるとき／切るとき」などの操作場面ごとにQ&A形式で説明しています。

「dynabook.com」のサポート情報で調べてください。

インターネットに接続してホームページ「dynabook.com」のサポート情報で調べてください。
「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows関連情報を提供しています。

参照 詳細について「本節 ❸ dynabookのサポート情報を見る」

各アプリケーションのサポート窓口に問い合わせてください。

「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」を確認してください。

各周辺機器のサポート窓口に問い合わせてください。

『周辺機器に付属の説明書』を確認してください。

「東芝PCダイヤル」に問い合わせてください。

巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認してから、電話で問い合わせてください。

dynabookの故障や修理など、サポート情報については、同梱の『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

1 サイバーサポート

わからないことや知りたいことがあるとき、「CyberSupport for TOSHIBA」（サイバーサポート）を起動してパソコン画面上で調べることができます。
サイバーサポートには、パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、困ったときのトラブル解消方法、用語集などが掲載されています。
また、知りたい内容を文章（自然語）や単語で入力すると、Windowsのヘルプ、アプリケーションのヘルプなどを総合的に検索して解決方法を探します。
インターネットに接続して「dynabook.com」（ダイナブック ドット コム）の「よくあるご質問（FAQ）」などを検索することもできます。
ここでは、インターネットに接続できる状態での使用方法について説明します。

参照 インターネットの接続について
『さあ始めよう 3章 1 インターネットに接続する』

1 起動方法

初めて起動するときの手順については、『さあ始めよう 5章 サイバーサポートで調べよう』を確認してください。

1 デスクトップ上の［CyberSupport for TOSHIBA］アイコン（ ）をダブルクリックするか、またはサイバーサポートボタン（ ）*1 を押す

＊1 サイバーサポートボタン搭載モデルのみ

サイバーサポートが起動します。次の画面が表示されます。

この画面が表示されずにメイン画面が表示された場合は、次の手順を行ってください。

① 画面左下の［メニュー］ボタン（ メニュー ）をクリックし、表示されたメニューから［オプション］をクリックする
② ［CyberSupport起動時に確認する］と［確認メッセージを表示する］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする

③［閉じる］ボタン（ ☒ ）をクリックし、サイバーサポートを終了する

④ サイバーサポートを起動する

2 **「dynabook.com」に接続し、本製品に関する新着情報を確認する場合は［はい］ボタンをクリックする**

［次回からこのメッセージを表示しないで確認する］をチェックすると、次回からサイバーサポートを起動したときにこの確認画面は表示されずに確認動作を行います。
確認動作終了後、メイン画面が表示されます。

［FAQ・モジュールを見る］ボタン

新着情報を確認したあとの［FAQ・モジュールを見る］ボタンは次の状態を表しています。

NEW FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュールの両方に新着情報があるとき
NEW FAQを見る	FAQ に新着情報があるとき
NEW モジュールを見る	ダウンロードモジュールに新着情報があるとき
FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュールの両方とも新着情報がないとき

［FAQ・モジュールを見る］ボタンの使いかたについて、詳しくは「本節 ❷-3 新着情報を表示する」を確認してください。

2 活用情報を見る

サイバーサポートには、次のような情報が項目ごとに掲載されています。

パソコンの使いかた	本製品にインストールされているアプリケーションの概要や、起動方法について説明しています。
知っておくと便利	本製品でできる機能について説明しています。
困ったときは	トラブルの解消方法を、操作場面ごとにQ & A形式で説明しています。
用語集	パソコンを使うときに利用する用語の意味について説明しています。
お問い合わせ先	本製品にインストールされているアプリケーションやプロバイダの問い合わせ先を掲載しています。
ブックマーク	本製品に添付されているマニュアルなどの、目的の説明を登録し、あとから簡単に表示させることができます。

次の手順で情報を表示できます。

1 見たい項目のボタンをクリックする

左画面にもくじが表示されます。

2 もくじから、見たい項目をクリックする

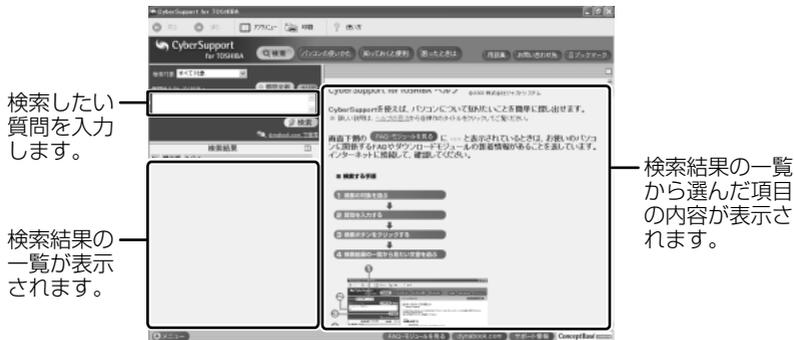
項目によっては、さらに細かく分類されたもくじが表示されます。見たい項目を選んでクリックしてください。
右画面に情報ページが表示されます。

2 サイバーサポートで調べる

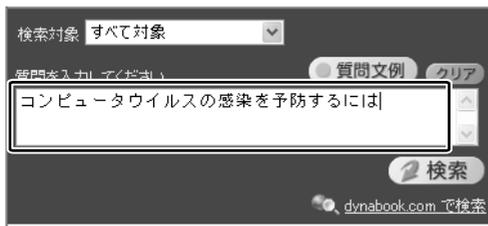
1 本製品内のヘルプを検索する

1 サイバーサポートを起動する

2 検索画面が表示されていない場合は、［検索］ボタン（ 検索 ）をクリックする

検索画面が表示されます。

3 ［検索対象］の をクリックして①、表示される一覧から調べたい項目の分類をクリックする②

4 ［質問を入力してください］に質問を入力する

質問は、わかりやすい表現で、できるだけ具体的に入力してください。単語だけでも検索できますが、結果を絞り込むためにはできるだけ詳しく入力してください。

［質問文例］ボタン（ 質問文例 ）をクリックすると、文例リストが表示されますので、そこから選択することもできます。

5 ［検索］ボタン（ ）をクリックする

検索対象に設定されているすべてのヘルプが検索され、［検索結果］欄に該当する項目のリストが表示されます。

6 見たい項目をクリックする

右側の画面に、項目の内容が表示されます。
［トピックの検索］画面が表示された場合は、［表示］ボタンをクリックしてください。

検索対象を追加する

サイバーサポートが検索する情報には、dynabook の情報、Windows のヘルプやプレインストールされている一部のアプリケーションのヘルプが、あらかじめ登録されています。
検索対象を追加すると、サイバーサポートで検索できる内容が広がります。

1 画面左下の［メニュー］ボタン（ ）をクリックして、表示されたメニューから［検索対象の追加］をクリックする

［検索対象の追加］画面が表示されます。

2 ［アプリケーション一覧］から登録したいヘルプを選択し、［OK］ボタン（ ）をクリックする

表示されるメッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックすると、検索情報の更新が開始されます。終了すると自動的に検索の画面に戻ります。
［検索対象］にアプリケーションが追加され、ヘルプがサイバーサポートで検索できるようになります。

2 「dynabook.com」の「サポート情報」内を検索する

インターネットでホームページ「dynabook.com」へ接続し、「よくあるご質問（FAQ）」と「ダウンロード」に掲載されている本製品の情報を検索することもできます。

1 サイバーサポートを起動する

参照 「本節 ❶-1 起動方法」

2 検索画面が表示されていない場合は、［検索］ボタン（ ）をクリックする

3 ［質問を入力してください］に質問を入力する

4 dynabook.com で検索 **をクリックする**

インターネットに接続し、「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ)」と「ダウンロード」に掲載されている情報を検索し、本製品に関する情報だけを表示します。

3 新着情報を表示する

サイバーサポート起動時に新着情報を確認したあと、［FAQ・モジュールを見る］ボタンにNEW（ NEW ）と表示された場合は、「dynabook.com」に本製品に関する新しいFAQやダウンロードモジュールの情報が追加されています。
次の手順で最新情報を表示することができます。

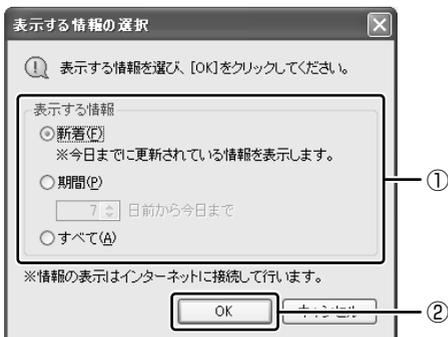
1 サイバーサポートを起動する

2 ［FAQ・モジュールを見る］ボタン（ FAQ・モジュールを見る ）をクリックする

［FAQ・モジュールを見る］ボタンは、サイバーサポート起動時に確認した新着情報の結果によって変わります。

参照 「本節 ❶-1- ［FAQ・モジュールを見る］ボタン」

［表示する情報の選択］画面が表示されます。

3 確認したい項目をチェックし①、［OK］ボタンをクリックする②

インターネットに接続し、「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ)」と「ダウンロード」に掲載されているなかから本製品に関する情報だけを表示します。

ヘルプの起動方法

サイバーサポートの詳しい使いかたについては、ヘルプを確認してください。

1 サイバーサポートを起動後、［使い方］ボタン（ ? 使い方 ）をクリックする

参照 サイバーサポートの問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

3 dynabook のサポート情報を見る

「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows 関連情報を提供しています。
また、インターネットでのお客様登録を行うことができます。
サポート窓口や修理についても案内しています。
URL　http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［インターネット］をクリックする

Internet Explorer が起動します。
購入時の状態では、起動して最初に dynabook のサポート情報のページが表示されるように設定されています。

参照 インターネットの接続について
『さあ始めよう 3 章 1 インターネットに接続する』

【 パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問（FAQ)」 】

URL　http://dynabook.com/assistpc/faq/index_j.htm

dynabook のサポート情報のページからは、［よくあるご質問（FAQ)］をクリックすると表示されます。

日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。
キーワードや文章を入力して、検索することもできます。

サポート情報は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。アプリケーションについて知りたいことがあるときは、ホームページを確認するのも良いでしょう。

参照 ホームページアドレスについて
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

2 トラブル解消に役立つ操作

トラブルを解消するために、パソコンの設定を変更する必要がある場合があります。ここでは、パソコンの設定を変更するときによく使う操作を説明します。

1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルとは、パソコンのいろいろな設定をまとめたフォルダです。パソコンの設定を変更したいときには、まずコントロールパネルを開き、その中から目的の設定を行うオプション画面を選ぶことがよくあります。
コントロールパネルの開きかたを説明します。

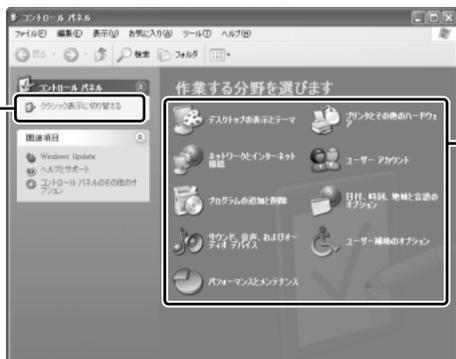
1 開きかた

1 ［スタート］①→［コントロールパネル］をクリックする②

2 ［コントロールパネル］画面

［コントロールパネル］は、オプションとカテゴリで構成されています。
オプションとは、［画面］や［サウンドとオーディオデバイス］など、具体的な設定画面のことです。設定内容を絵で表したアイコンで表示されます。
カテゴリとは、コントロールパネルのいろいろなオプションを、内容別に大きく9つに分類したものです。
実際の設定変更はオプションで行います。
［コントロールパネル］画面には、目的のカテゴリを選択する画面（カテゴリ表示）と、すべてのオプションから選択する画面（クラシック表示）の2種類があります。
2つの画面は互いに切り替えることができます。

＊本書では、カテゴリを表示しているという前提で、操作の説明をしています。

カテゴリだけを表示する画面

各アイコンや下線部をクリックすると、各カテゴリのメニューが表示されます。

下線部をクリックすると切り替わります。

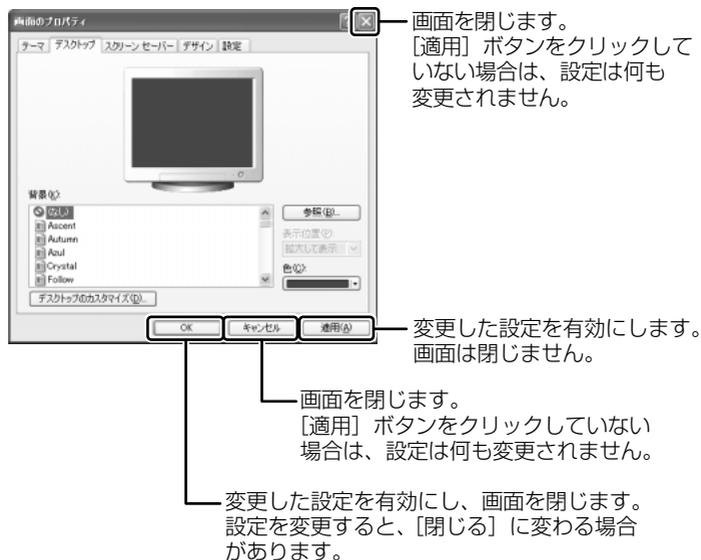
すべてのオプションを表示する画面

各アイコンをダブルクリックすると、オプション画面が開きます。

3 コントロールパネルの閉じかた

設定や確認をした後の、［オプション］画面と［コントロールパネル］画面の閉じかたを説明します。

1 ［オプション］画面を閉じる

変更した設定を有効にするかどうかによって、閉じかたが異なります。
［適用］ボタンをクリックした後に、［キャンセル］ボタンまたは［閉じる］ボタン（ ✕ ）をクリックしても変更した設定を無効にすることはできません。もう 1 度［オプション］画面を開いて設定しなおしてください。

オプションから複数の画面を開いていた場合は、1 つ前に表示されていた画面に戻ります。
オプションの画面をすべて閉じると、［コントロールパネル］画面に戻ります。

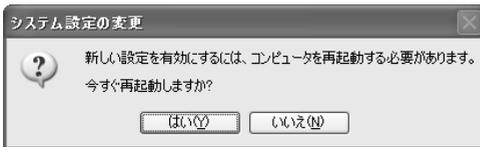
2 ［コントロールパネル］画面の［閉じる］ボタン（ ✕ ）をクリックする

［コントロールパネル］画面が閉じます。

2 パソコンを再起動する

再起動とは、1度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることです。
設定を変更した後に、設定を有効にするにはパソコンの再起動が必要な場合があります。
再起動が必要な設定をした場合、再起動をするまでは変更が適用されません。システムが次に起動したときから設定が適用されます。

1 「再起動しますか？」と表示された場合の方法

設定を変更した後に、次のようなメッセージが表示される場合があります。

1 ［はい］ボタンをクリックする

パソコンが再起動します。

2 自分で再起動する方法

1 ［スタート］①→［終了オプション］をクリックする②

XP Proモデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

2 ［再起動］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は次の画面が表示されるので、をクリックして表示されたメニューから［再起動］を選択して①［OK］ボタンをクリックしてください②。

パソコンが再起動します。

3 トラブルが起こったときは

1 パソコンの情報を見る／状態を診断する

使用中のパソコンにどのような機能があるか、また調子が悪い場合はどこに問題があるのかを「東芝PC診断ツール」で調べることができます。

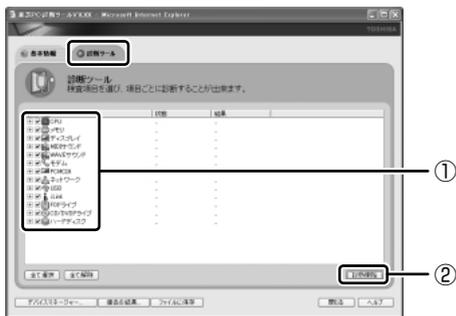
1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC診断ツール］をクリックする

「東芝PC診断ツール」が起動します。

2 パソコンを診断する

C8/21DCMHNEモデルをお使いの場合は、次ページを参照ください。

1 ［診断ツール］タブで診断する項目をチェックし①、［診断開始］ボタンをクリックする②

確認のメッセージが表示されます。

2 ［はい］ボタンをクリックする

チェックした項目を上から順番に診断します。
チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、確かめて［はい］または［いいえ］／［OK］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
診断が終了すると、メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。結果が表示されます。
問題があった場合は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。

【 C8/21DCMHNE モデルの場合 】

1 **診断する項目をチェックし①、［診断開始］ボタンをクリックする②**

チェックした項目を上から順番に診断します。
チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、確かめて［はい］または［いいえ］／［OK］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
診断が終了し、問題があった場合には、［診断結果について］画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。結果が表示されます。
問題があった場合は、［診断結果の表示］画面の［診断項目］で、目的の項目をダブルクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。

3 診断結果を保存する

診断結果をファイルに保存できます。

1 **［ファイルに保存］ボタンをクリックする**

2 **ファイルの保存場所とファイル名を指定し、［保存］ボタンをクリックする**

確認のメッセージが表示されます。

3 **［はい］ボタンをクリックする**

指定した場所にファイルが保存されます。

【 C8/21DCMHNE モデルの場合 】

1 **［保存ファイルの指定］の［変更］ボタンをクリックする**

2 **ファイルの保存場所とファイル名を指定し、［開く］ボタンをクリックする**

3 **［診断結果を保存］ボタンをクリックする**

メッセージが表示され、設定した場所にファイルが保存されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。

4 システムに関する情報を表示する

1 **［東芝 PC 診断ツール］画面で、［基本情報］タブまたは［基本情報の表示］ボタンをクリックする**

本製品の基本情報が表示されます。

【 C8/21DCMHNE モデルの場合 】

表示される内容は、「東芝 PC 診断ツール」を起動した時点での設定内容です。設定を変更した場合は、パソコン本体を起動しなおすと変更後の設定内容が表示されます。ただし、［CPU］の項目には、搭載されている CPU の最大クロック数（固定値）が表示され、これはユーティリティなどによる設定値には影響されません。

ヘルプの起動方法

1 「東芝 PC 診断ツール」を起動後、［ヘルプ］ボタンをクリックする

参照 「東芝 PC 診断ツール」の問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

2 正常な状態で起動しなおす

周辺機器のドライバの更新中やシステム（OS）のアップデート中にトラブルが発生した場合、次の手順を行うと、前回正常に起動したときの構成で Windows を起動できます。

1 操作方法

1 F8 キーを押しながら、電源スイッチを押す

2 ↑ キーまたは ↓ キーで［前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定)］を選択し、Enter キーを押す

3 ［Microsoft Windows XP Home Edition］または［Microsoft Windows XP Professional］が反転していることを確認し、Enter キーを押す

前回正常に起動したときの構成で Windows が起動します。
場合によっては、起動までに時間がかかります。

2章

トラブルを防ぐために

トラブルの予防方法やトラブルが起こってしまったときに備えて行っておくと良いことを説明しています。トラブルによっては、データの破壊や消失だけでなく、周囲へも影響を与えてしまうおそれもあります。快適にパソコンを使うために、あらかじめ読んでおいてください。

1 ウイルスチェックをする

コンピュータウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊されたり、使用できなくなることがあります。ウイルス感染を防ぐために、インターネットへの接続やメールの送受信をする前に、必ずウイルスチェックソフトをインストールし、普段から定期的にコンピュータウイルスの検索を行うようにしてください。
本製品には、「Norton（ノートン・）Internet（インターネット）Security（セキュリティ）」が添付されています。「Norton Internet Security」のNorton AntiVirus（ノートン・アンチウイルス）機能を使って、ウイルスチェックを行ってください。

1 Norton Internet Securityのインストール

お願い　インストールを行うにあたって

- インストールしてすぐに、LiveUpdate（ライブアップデート）で最新のウイルス定義ファイルを必ずダウンロードしてください。
- インストール終了後、自動的にLiveUpdateを行うこともできます。
  LiveUpdateはインターネットに接続して行いますので、あらかじめインターネットに接続する設定を行っておいてください。
  LiveUpdateはインストール後も定期的に行い、常に最新のウィルス定義ファイルをダウンロードしてください。

参照 LiveUpdateについて「本節 ❷-2 ウイルス定義ファイルの更新」

「Norton Internet Security」は購入時にはインストールされていません。次の手順に従ってインストールしてください。

1 デスクトップ上の［Norton Internet Securityのセットアップ］アイコン（ ）をダブルクリックする

［ウイルススキャンしますか？］画面が表示されます。

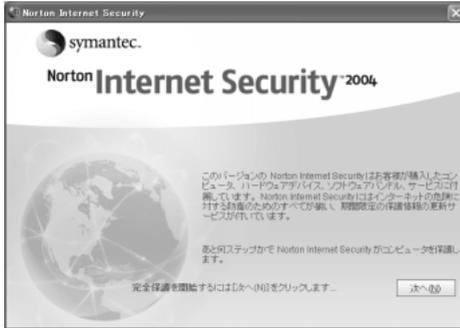
2 ［はい］ボタンをクリックする

インストールの支障となるウイルスに感染していないかチェックを開始します。ウイルスが検出された場合は、表示されたメッセージに従って操作してください。チェックが終了すると、［scanresults-メモ帳］画面が開き、結果が表示されます。

3 ［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

［Norton Internet Securityセットアップ］画面が表示されます。

4 画面の指示に従ってインストールする

［Norton Internet Securityのインストールが正常に完了しました。］画面では、［今すぐにWindowsを再起動する］がチェックされていることを確認し、［完了］ボタンをクリックしてください。パソコンが再起動し、次の画面が表示されます。

5 ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って「Norton Internet Security」の保護機能の設定を行ってください。

なお、［使用許諾契約］画面では、［使用許諾に同意します］をチェック（ ）してください。契約に同意しなければ、「Norton Internet Security」を使用することはできません。

② Norton AntiVirusでチェックする

1 ウイルスをチェックする

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 ［Norton Internet Security］画面左側の［Norton AntiVirus］をクリックする

画面右側が［システム状態］画面に切り替わります。

3 画面左側の［ウイルススキャン］をクリックする

画面右側が［ウイルススキャン］画面に切り替わります。

4 **画面右側の［タスク］からウイルスチェックをする項目をクリックする**

5 **画面右側の［処理］の［スキャン］をクリックする**

手順４でクリックした項目によって、次の動作になります。

- **［コンピュータをスキャン］［すべてのリムーバブルドライブをスキャン］［すべてのフロッピーをスキャン］をクリックした場合**

  ウイルスチェックを開始します。

- **［ドライブをスキャン］をクリックした場合**

  ドライブ一覧が表示されます。ウイルスチェックをするドライブの左にチェックマーク（☑）をつけ、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

- **［フォルダをスキャン］をクリックした場合**

  フォルダ一覧が表示されます。ウイルスチェックをするフォルダの左にチェックマーク（☑）をつけ、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

- **［ファイルをスキャン］をクリックした場合**

  ファイルの選択画面が表示されます。ウイルスチェックをするファイルを指定し、［開く］ボタンをクリックしてください。

ウイルスのチェックが始まります。チェック後、結果画面が表示されます。

ウイルスが発見されたら、感染しているファイルを削除するなど修復し、問題を解決してください。

ウイルスやファイルの種類によって、次に表示される画面が異なります。詳しくは、ヘルプを確認してください。

6 **［完了］ボタンをクリックする**

2 ウイルス定義ファイルの更新

コンピュータウイルスは、次々と新しいものが出現しますので、LiveUpdate を使ってウイルス定義ファイルを更新する必要があります。
LiveUpdate はインターネットに接続して行います。あらかじめインターネットに接続する設定を行ってから操作を始めてください。

参照 インターネットの接続について
『さあ始めよう 3 章 1 インターネットに接続する』

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 ［Norton Internet Security］画面で［LiveUpdate］ボタンをクリックする

［LiveUpdate］画面が表示されます。

3 ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

本製品に添付されている「Norton Internet Security」のウイルス定義ファイルの更新期限は、使用開始から 90 日間です。
期限が切れてしまうと、LiveUpdate ができなくなり最新のウイルスに感染する危険があります。
期限終了後は、シマンテックにてウイルス定義ファイルの更新手続き（有償）を行うと、さらに 1 年間のサービスを受けることができます。

参照 期限切れによる更新サービスの延長申し込みについて
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

役立つ操作集

Norton AntiVirus を使用する

通知領域の［Norton AntiVirus］アイコン（ ）をダブルクリックすると、Norton AntiVirus のメインウィンドウを起動できます。
ウイルスチェックのみ行う場合などに便利です。
Norton AntiVirusのメインウィンドウを起動してウイルスチェックする場合は、「本項 1 ウイルスをチェックする」の手順 3 から操作してください。

③ Norton Internet Securityの設定

「Norton Internet Security」には、コンピュータウイルスを検出／除去するAntiVirusの機能のほかに次の機能があります。

- ノートン・パーソナル ファイアウォール
  Norton Personal Firewall
  インターネットを通したパソコンへの不正なアクセスなどから防御します。
- ノートン・アンチスパム
  Norton AntiSpam
  スパムメールなどの迷惑メールの検出をします。
- プライバシー制御機能
  インターネットなどを通して個人情報が漏れるのを防止します。
- 保護者機能
  子供に不適切と思われるインターネットのコンテンツへのアクセスを遮断するなど、ユーザアカウントごとにインターネットアクセス権を設定できます。

これらのコンピュータ保護のための機能は必要に応じて変更することができます。
また［Norton Internet Security］画面では、プログラムの活動を監視することもできます。

1 状態／設定画面の表示

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 画面左側の［状態と設定］をクリックする

画面右側にシステムの状態と保護の設定が表示されます。

2 保護機能の設定を変更する

保護機能の設定項目は後から変更することもできます。

1 状態／設定画面を表示する

2 画面右側から変更する項目をクリックする

3 画面右下の［無効にする］または［設定］などをクリックする

インターネット接続の設定について

「Norton Internet Security」にはインターネットに接続できるアプリケーションを許可したり遮断したりする機能があります。アプリケーションのインターネット接続を遮断すると、インターネットに接続できなくなります。
再びインターネットに接続したい場合は、サイバーサポートの「知っておくと便利」内の「アプリケーションのインターネット接続を許可する」を参照して設定してください。

ヘルプの起動

1 ［Norton Internet Security］画面でツールバーの［ヘルプとサポート］→［Norton Internet Security ヘルプ］をクリックする

参照 「Norton Internet Security」の問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

PDF マニュアルの起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］をクリックする

2 画面左の［マイコンピュータ］をクリック→［XXXXX（C:)］をクリック→［NortInter］をクリック→［MANUAL］をクリックする

3 画面右から［NIS］アイコンをダブルクリックする

「Norton Internet Security ユーザーズガイド」が開きます。

2 バックアップをとる

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとは、ハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときや、誤ってファイルを削除してしまったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD／DVDなど、ハードディスク以外の記憶メディアにコピーしておくことです。
記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD／DVDなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

バックアップが必要なデータ

バックアップをとることを推奨するデータには、次のようなものがあります。

自分で作成したデータ	データをバックアップ先にコピーして保存してください。
送受信したメール	「本節 ❷［お気に入り］のバックアップをとる」、「本節 ❸ メールのバックアップをとる」の手順に従って、バックアップをとってください。
メールのアドレス帳	
インターネットの［お気に入り］	
インターネット接続の設定	『さあ始めよう 3章 1-❼ インターネット設定チェックシート』に必要事項を記入しておいてください。

1 CD ／ DVD にデータのバックアップをとる

本製品では添付の「Drag'n Drop CD ＋ DVD（ドラッグンドロップシーディープラスディーブイディー）」を使って、CD-RW、CD-R にデータのバックアップをとることができます。DVD マルチドライブモデル、DVD-R/-RW ドライブモデルでは、DVD-RW、DVD-R にもデータのバックアップをとることができます。
購入したモデルによって、使用できるメディアが異なります。
「Drag'n Drop CD ＋ DVD」の操作をする前に、『使ってみよう 1 章 本体の機能』のドライブの節をよく読んでください。

メモ

DVDマルチドライブモデルでは、DVD-RAMにもバックアップをとることができますが、「Drag'n Drop CD ＋ DVD」ではDVD-RAMにデータを書き込むことができません。DVD-RAM にデータを書き込む場合は、［マイコンピュータ］で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーしてください。

参照 ドライブについて『使ってみよう 1 章 本体の機能』

参照 ファイルやフォルダのコピー
『さあ始めよう 2 章 6-❷ ファイルやフォルダをコピーする』

お願い 書き込む前に

DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、「Drag'n Drop CD＋DVD」を使用してください。本製品に添付の「Drag'n Drop CD＋DVD」以外のDVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rライティングソフトウェアは動作保証していません。Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。

CD／DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-Rに書き込む際には、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

参照 CD／DVDについて『使ってみよう 1章 本体の機能』

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源コンセントに接続してください。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 3章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション　　など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。
- SDメモリカード、フロッピーディスク、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。

- 「Drag'n Drop CD＋DVD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。
- 本製品に付属している「Drag'n Drop CD＋DVD」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。
- DVDをバックアップする際は、バックアップ元にDVD書き込み機能のあるドライブを使用してください。外部接続のDVD-ROMドライブなどからは、正しくバックアップできないことがあります。
- 書き込み済みのDVD-RWにDVDをバックアップする際は、DVD-RWに保存されているデータを全消去してからバックアップしてください。消去方法については、「Drag'n Drop CD＋DVD」のヘルプを確認してください。

参照 「Drag'n Drop CD＋DVD」のヘルプ「本項3-ヘルプの起動方法」

- 著作権保護されているDVD-Videoを「Drag'n Drop CD＋DVD」の［DISC Backup BOX］（ ）を使用してバックアップを作成しても、作成されたメディアで映像を再生することはできません。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」の［DISC Backup BOX］（ ）を使用してCD-ROM、CD-R、CD-RWからDVD-R、DVD-RWにバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」の［DISC Backup BOX］（ ）、［Data BOX］（ ）を使用してDVD-RAMにバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」の［DISC Backup BOX］（ ）を使用してDVD-ROM、DVD-Video、DVD-R、DVD-RWからCD-R、CD-RWへバックアップを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」の［DISC Backup BOX］（ ）を使用して、他のソフトウェアや、家庭用DVDビデオレコーダで作成したDVD-RW、DVD-Rのバックアップを作成できないことがあります。
- DVD-Rにデータを追記した場合、そのDVD-Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE＊1、Windows Me＊2などの16ビット系OSではDVD-Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0＊3ではService Pack 6以降、Windows 2000＊4ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、マルチドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

＊1　Microsoft® Windows®98 SECOND EDTION operating system日本語版を示します。
＊2　Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3　Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4　Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

お願い　書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。

参照 周辺機器について『応用にチャレンジ 2章 周辺機器の接続』

- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ① [Data BOX] を右クリックし、[オプション] をクリックする
  [D：(DATA DISC) の設定] 画面が表示されます。
  ② [書き込み設定] タブの [書き込み手順] で、[書き込み後ベリファイ] をチェックする
  ③ [詳細ベリファイ] をクリックする
  ④ [OK] ボタンをクリックする

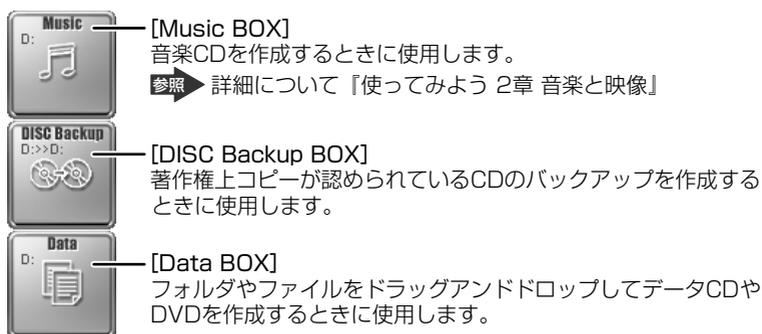
1 起動方法

「Drag'n Drop CD＋DVD」はWindowsを起動すると同時に起動し、デスクトップ上にアイコンが表示されます。
「Drag'n Drop CD＋DVD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD＋DVD] → [Drag'n Drop CD＋DVD] をクリックする

デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

2 Drag'n Drop CD + DVD の基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。

3 CDなどへのデータの書き込み

ここでは、例として［Data BOX］を使用して DVD-R、CD-R にデータを書き込む方法を説明します。

1 ［マイ コンピュータ］などでコピーしたいファイルやフォルダを選択し、［Data BOX］へドラッグアンドドロップする

2 未使用の DVD-R、CD-R をセットする

［CD ドライブ（D:)］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

3 ［Data BOX］に表示されている をクリックする

書き込みが開始されます。書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に出てきます。

[Data Layout Window］画面

［Data Layout Window］画面では、［Data BOX］にドラッグアンドドロップされたファイルやフォルダを確認することができます。ファイルやフォルダの名前の変更やツリー構造の変更をすることもできます。
［Data Layout Window］画面でファイルやフォルダの位置や名前を変えても、コピー元のデータは変更されません。また［Data Layout Window］画面から削除しても、コピー元のデータが削除されることはありません。

1 ［Data BOX］をダブルクリックする

［Data Layout Window］画面が表示されます。

2 ツールバーの各ボタンで操作する

フォルダ作成	CD 上に新しくフォルダを作ることができます。このフォルダにドラッグアンドドロップしたファイルやフォルダを移動できます。
上に移動	上の階層へ移動し、上の階層のフォルダやファイルの構造などを確認できます。
削除	［Data Layout Window］画面に表示されているファイルやフォルダを削除します。削除したデータはメディアに書き込まれません。元のデータは削除されません。
プロパティ	選択されているファイルの［プロパティ］画面が表示され、ファイルの情報を確認できます。
名称変更	ファイルやフォルダの名前を変更できます。元のファイルやフォルダの名前は変更されません。
オプション	書き込み方法やデータ CD、DVD の設定ができます。
マスタリング	ブートディスクを作成できます。
書き込み	クリックすると、［Data Layout Window］画面に表示されている内容で CD に書き込まれます。

詳細については、「Drag’n Drop CD ＋ DVD」のヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD＋DVD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Drag'n Drop CD＋DVD］→［Drag'n Drop CD＋DVD Help］をクリックする

「Drag'n Drop CD＋DVD」のヘルプが表示されます。

参照 「Drag'n Drop CD＋DVD」の問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

役立つ操作集

ノークリックバックアップ機能

ノークリックバックアップとは、バックアップ用のメディアをセットするだけで自動的にバックアップをとる機能です。あらかじめバックアップ情報を記録したメディアを作成しておく必要があります。
詳しくは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Drag'n Drop CD+DVD］→［ノークリックバックアップ Auto-Grabber Help］を参照してください。

2 ［お気に入り］のバックアップをとる

Internet Explorerの、［お気に入り］のバックアップをとることができます。

参照 Internet Explorerの使いかたついて
『さあ始めよう 3章 インターネットを楽しもう』

1 操作手順

1 ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

2 （C:）ドライブをダブルクリックする

ドライブの内容が表示されていない場合は、［このフォルダの内容を表示する］をクリックしてください。

3 ［Documents and Settings］フォルダをダブルクリックする

4 バックアップをとりたいユーザのフォルダをダブルクリックする

5 ［お気に入り］フォルダを、バックアップデータの保存先にコピーする

【 バックアップをとった［お気に入り］を利用する 】

① ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

② （C:）ドライブをダブルクリックする
ドライブの内容が表示されていない場合は、［このフォルダの内容を表示する］をクリックしてください。

③ ［Documents and Settings］フォルダをダブルクリックする

④ ユーザのフォルダをダブルクリックする

⑤ 保存した［お気に入り］フォルダを、ユーザのフォルダ内の［お気に入り］フォルダに上書きする

3 メールのバックアップをとる

送受信したメールや、登録したアドレス帳のバックアップをとることができます。ここでは、Outlook Express と Outlook 2003 の場合のバックアップ方法を説明します。

Outlook Express、Outlook 2003 の使いかたについて
『さあ始めよう 4 章 電子メールを楽しもう』

1 Outlook Expressのメールデータのバックアップ方法

emlファイルのバックアップ方法

1 デスクトップ上の何もないところで右クリックし、表示されたメニューから［アイコンの整列］にポインタをあわせる

2 表示されたメニューの［アイコンの自動整列］にチェックがついている場合は、クリックしてチェックをはずす

3 デスクトップ上の何もないところで右クリックし、表示されたメニューから[新規作成］→［フォルダ］をクリックする

4 作成したフォルダに名前をつける

わかりやすい名前をつけることをおすすめします。

5 「Outlook Express」を起動する

手順３で作成したフォルダが Outlook Express 画面を開いた状態でも見えるように Outlook Express 画面の位置を調整してください。

6 左側の画面の［フォルダ］の一覧からバックアップをとりたいフォルダをクリックする

右側の画面に選択したフォルダに保存されているメールの一覧が表示されます。

7 右側の画面に表示されたメールの一覧からメールを1つクリックする

8 メニューバーの［編集］をクリックし、表示されたメニューから［すべて選択］をクリックする

フォルダ内のメールがすべて選択された状態になります。

9 選択されたメールを手順3で作成したフォルダへドラッグアンドドロップする

10 メールをドロップしたフォルダを開き、メールがファイルとして存在することを確認する

添付ファイルが付属していたメールは、添付ファイルが付属した状態で保存されます。

11 手順10で開いたフォルダをフロッピーディスクやCD-RW、CD-Rなどにコピーする

【 バックアップをとったemlファイルをOutlook Expressで読み込む 】

①「Outlook Express」を起動する

② メールデータのバックアップを取っておいたフォルダを開く
開いたフォルダがOutlook Express画面を開いた状態でも見えるようにOutlook Express画面の位置を調整してください。

③ メニューバーの［編集］をクリックし、表示されたメニューから［すべて選択］をクリックする
フォルダ内のすべてのメールのファイルが選択されます。

④ 選択されたメールを「Outlook Express」の［フォルダ］の一覧にある復元したいフォルダへドラッグアンドドロップする

⑤ メールをドロップしたフォルダをクリックし、右側の画面に手順③で選択されたメールの一覧の内容が表示されることを確認する

DBX ファイルのバックアップ方法

1 メニューバーの［ツール］→［オプション］をクリックする

［オプション］画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］タブで［保存フォルダ］ボタンをクリックする

［保存場所］画面が表示されます。

3 ［個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています：］に表示されたパスをコピーする

パスが長くてすべて表示されていない場合もあります。→キーを押して文字列をスクロールすると、続きが表示されますので、すべてのパスをコピーするようにしてください。

4 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

5 ［名前］欄に手順３でコピーしたパスを貼り付け、［OK］ボタンをクリックする

6 拡張子が「.dbx」のファイルをすべて、バックアップデータの保存先にコピーする

【 バックアップをとったDBX ファイルを Outlook Express で読み込む 】

① メニューバーの［ファイル］→［インポート］→［メッセージ］をクリックする
② ［プログラムの選択］画面で、［Microsoft Outlook Express 6 ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
③ ［場所の指定］画面で［Outlook Express 6 ストアディレクトリからメールをインポートする］をクリックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
⑤ バックアップ手順でメッセージを保存した場所（フロッピーディスクなど）を指定し、［次へ］ボタンをクリックする
⑥ ［フォルダの選択］画面で、［すべてのフォルダ］をクリックする、または［選択されたフォルダ］をクリックして読み込ませたいメールフォルダを選択して、［次へ］ボタンをクリックする
［インポートの完了］画面が表示されます。
⑦ ［完了］ボタンをクリックする
メールのインポートを行った場合、同じメールは上書きされません。インポート作業が完了したあと同じ内容のメールが重複して存在する場合があります。この場合、必要に応じて手動でメールの削除を行ってください。

CD-R、CD-RWなどにバックアップをとった場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。この場合、バックアップをとったデータを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

2 Outlook Expressのアドレス帳のバックアップ方法

1 メニューバーの［ファイル］→［エクスポート］→［アドレス帳］をクリックする

［アドレス帳エクスポートツール］画面が表示されます。

2 ［テキストファイル（CSV）］を選択し、［エクスポート］ボタンをクリックする

［CSVのエクスポート］画面が表示されます。

3 ［参照］ボタンをクリックする

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

4 ［保存する場所］にバックアップ先を指定し、［ファイル名］にファイル名を入力する

5 ［保存］ボタンをクリックする

［CSVのエクスポート］画面に戻り、［エクスポート先のファイル名］にパスが入力されます。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

7 ［エクスポートするフィールドを選択してください］で、バックアップをとりたい項目をチェックする

8 ［完了］ボタンをクリックする

「アドレス帳のエクスポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。

9 ［OK］ボタンをクリックする

［アドレス帳エクスポートツール］画面に戻ります。

10 ［閉じる］ボタンをクリックする

【 バックアップをとったアドレス帳を Outlook Express で読み込む 】

① メニューバーの［ファイル］→［インポート］→［ほかのアドレス帳］をクリックする
［アドレス帳インポートツール］画面が表示されます。
② ［テキストファイル（CSV)］を選択し、［インポート］ボタンをクリックする
［CSV のインポート］画面が表示されます。
③ ［参照］ボタンをクリックする
［ファイルを開く］画面が表示されます。
④ ［ファイルの場所］と［ファイル名］に、バックアップしたファイル名を指定する
⑤ ［開く］ボタンをクリックする
［CSV のインポート］画面に戻り、［インポートするファイルの選択］にパスが入力されます。
⑥ ［次へ］ボタンをクリックする
⑦ ［インポートするフィールドの割り当て］を変更する場合は、［割り当ての変更］ボタンをクリックして設定する
⑧ ［完了］ボタンをクリックする
読み込みたい Outlook Express のアドレス帳に同じ連絡先がある場合は、［上書きの確認］画面が表示されます。表示に従って操作してください。
「アドレス帳のインポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。
⑨ ［OK］ボタンをクリックする
［アドレス帳インポートツール］画面に戻ります。
⑩ ［閉じる］ボタンをクリックする

3 Outlook 2003 のバックアップ方法

＊ Office 搭載モデルのみ

Outlook 2003 のメールや連絡先データなどが保存されている、個人用フォルダのバックアップをとることができます。

1 メニューバーから［ファイル］→［インポートとエクスポート］をクリックする

［インポート / エクスポート ウィザード］が起動します。

2 ［ファイルへエクスポート］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

3 ［個人用フォルダ ファイル(.pst)］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

［個人用フォルダのエクスポート］画面が表示されます。

4 ［個人用フォルダ］が選択されていることを確認し、［サブフォルダを含む］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックする

5 ［参照］ボタンをクリックする

［個人用フォルダを開く］画面が表示されます。

6 ［保存先］欄で保存先を指定し、［OK］ボタンをクリックする

7 ［個人用フォルダのエクスポート］画面で［完了］ボタンをクリックする

8 ［Microsoft 個人用フォルダの作成］画面で［OK］ボタンをクリックする

【 バックアップをとった個人用フォルダを Outlook 2003 で読み込む 】

① メニューバーから［ファイル］→［インポートとエクスポート］をクリックする
［インポート / エクスポート ウィザード］が起動します。
② ［ほかのアプリケーションまたはファイルからのインポート］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
③ ［個人用フォルダ ファイル（.pst)］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
④ ［参照］ボタンをクリックする
［個人用フォルダを開く］画面が表示されます。
⑤ バックアップしたファイルを指定し、［開く］ボタンをクリックする
⑥ ［個人用フォルダのインポート］画面で［次へ］ボタンをクリックする
⑦ ［個人用フォルダのインポート］画面で［完了］ボタンをクリックする

CD-R、CD-RW などにバックアップをとった場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。この場合、バックアップをとったデータを使うときには、1 度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

３章

Q&A 集

トラブルの具体的な解消方法を、トラブルの起こった部位や場面ごとに Q&A 形式で説明しています。
また、Q&A 集はサイバーサポートでも見ることができます。パソコンの操作ができるときは、サイバーサポートも活用してください。

【電源を入れるとき／切るとき】

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
Power LED が緑／青色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

（Battery LED がオレンジ色に点滅している場合）

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について『応用にチャレンジ 3 章 バッテリ駆動』

（DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合）

A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。
バッテリパックや AC アダプタを接続し直してください。

参照 バッテリパックの取り付け／取りはずし
『応用にチャレンジ 3 章 バッテリ駆動』

参照 AC アダプタの接続
『さあ始めよう 1 章 3 Windows のセットアップ』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、「本章 電源を入れるとき／切るとき - Q.［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない」を確認してください。
強制終了した後、F12キーを押しながら電源スイッチを押してください。表示されたアイコンの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）を←→キーで選択し、Enterキーを押すと、システムが起動します。

【dynabook VX1 シリーズの場合】
システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、「本章 電源を入れるとき／切るとき - Q.［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない」を確認してください。
強制終了した後、電源スイッチを押し、電源を入れた直後（「dynabook」画面が表示されている間）にF12キーを押します。F12キーから指を離すと、［Boot Devices］画面が表示されます。
表示された項目の中からシステムに入っているドライブ（通常は［Hard Drive］：ハードディスクドライブ）を↑↓キーで選択し、Enterキーを押すと、システムが起動します。

A F8キーを押しながら電源スイッチを押すと、正常な状態で起動しなおすことができます。

参照 詳細について「1 章 3-❷ 正常な状態で起動しなおす」

Q ［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない

A Ctrl＋Alt＋Delキーを押して、電源を切ってください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

① Ctrl＋Alt＋Delキーを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。

② メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt＋Uキーを押してください。

③［コンピュータの電源を切る］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Uキーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

● XP Proモデルでドメイン参加している場合
① Ctrl＋Alt＋Delキーを押す
［Windowsのセキュリティ］画面が表示されます。
②［シャットダウン］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt＋Sキーを押してください。
③［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、↑キーや↓キーで［シャットダウン］を選択し、Enterキーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A **Ctrl＋Alt＋Delキーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。**

この場合、保存されていないデータは消失します。

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

A **パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。**

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

A **バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。**

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について『応用にチャレンジ 3章 バッテリ駆動』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

Shiftキーや Ctrlキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［東芝省電力］をクリックする

③ ［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する

④ ［基本設定］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす

⑤ ［OK］ボタンをクリックする

【C8/21DCMHNEモデルの場合】

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［東芝省電力］をクリックする

③ ［電源設定］タブで利用する省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリックする

④ ［省電力］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］の設定を［なし］にする

⑤ ［OK］ボタンをクリックする

⑥ ［東芝省電力のプロパティ］画面で［OK］ボタンをクリックする

Q 間違って電源を切ってしまった

A パソコンを終了する場合は、[スタート] → [終了オプション] をクリックします。XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、[スタート] → [シャットダウン] をクリックします。

パソコンが処理をしている最中（Disk LED が点灯中）に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法「本章 その他 - Q. セーフモードで起動した」

【画面／表示】

Q 画面に何も表示されない

（Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合）

A 電源が入っていないか、スタンバイまたは休止状態になっています。

電源スイッチを押してください。

Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない

（Power LED が緑／青色に点灯している場合）

A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

Shift キーや Ctrl キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。

A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。

次の操作を行ってください。

① Shift キーや Ctrl キーを押すか、タッチパッドを操作する
ユーザ名選択画面が表示されますので、ログオンするユーザ名をクリックしてください。

② Windows のログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面にWindowsのログオンパスワードを入力し、Enter キーを押す

参照 インスタントセキュリティ機能について
『使ってみよう 1 章 本体の機能』

A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。
Fn＋F5キーを３秒以上押し続けてください。表示装置が内部液晶ディスプレイに切り替わります。

参照 詳細について『応用にチャレンジ ２章 周辺機器の接続』

【キーボード】

Q キーを押しても文字が表示されない

A システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q どのキーを押しても反応しない 設定はあっているが、希望の文字が入力できない

A 次の手順で［スタート］メニューから再起動してください。
① ［スタート］→［終了オプション］をクリックする
② ［再起動］を選択する

A ［スタート］メニューから再起動できない場合は、Ctrl＋Alt＋Delキーを押して、再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。
① Ctrl＋Alt＋Delキーを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。
② メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt＋Uキーを押してください。
③ ［再起動］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Rキーを押してください。
再起動します。

● XP Pro モデルでドメイン参加している場合
① Ctrl＋Alt＋Delキーを押す
［Windows のセキュリティ］画面が表示されます。
② ［シャットダウン］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt＋Sキーを押してください。

③［再起動］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、↑キーや↓キーで［再起動］を選択し、Enterキーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A　Ctrl＋Alt＋Delキーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押してください。
電源が切れます。この場合、保存されていないデータは消失します。
しばらくしてから電源を入れ直してください。
強制終了した後パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合は、エラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法「本章 その他 - Q. セーフモードで起動した」

Q　キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A　飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

【タッチパッド／マウス】

＊購入したモデルによって、マウスは別売りになります。

Q　タッチパッドやマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

A　システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（ ⌛ ）をしている間は、システムが処理中のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A　マウスが正しく接続されていない可能性があります。
マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。
マウスのプラグを正しく接続してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。
Fn＋F9キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

参照 タッチパッドについて『使ってみよう 1章 本体の機能』

【CD／DVD】

Q CD／DVDにアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 CD／DVDのセット『さあ始めよう 2章 1-C CD／DVD』

A CD／DVDがきちんとセットされていない場合は、ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。
何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD／DVDが汚れている場合は、乾燥した清潔な布で拭いてください。
それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

参照 CD／DVDの手入れ『使ってみよう 1章 本体の機能』

A CD／DVDを認識していない可能性があります。
CD-ROM LEDが点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう1度アクセスしてください。

Q CD-ROM LEDが消えない

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LEDが消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、Ctrl＋Alt＋Delキーを押して再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 再起動の方法
「本章 キーボード-Q. どのキーを押しても反応しない
設定はあっているが、希望の文字が入力できない」

再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、電源を切ってから、もう1度電源を入れてください。この場合、保存されていないデータは消失します。再起動後、同じ操作を行っても、LEDが消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD／DVDが取り出せない

A パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 CD／DVDの取り出し『さあ始めよう 2章 1-❸ CD／DVD』

Q パソコン本体の電源が入らないため、CD／DVDが取り出せない

A ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 イジェクトホール『さあ始めよう 2章 1-❸ CD／DVD』

Q DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。

① ［マイコンピュータ］で（D:）ドライブを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

② ［自動再生］タブで「DVDムービー」を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする

③ ［OK］ボタンをクリックする

参照 DVD-Videoの再生について『使ってみよう 2章 音楽と映像』

【周辺機器】

周辺機器については『応用にチャレンジ 2章 周辺機器の接続』、『周辺機器に付属の説明書』もあわせて確認してください。

Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

A 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。
USB対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後に電源を入れても使うことができるものがあります。

Q 増設メモリが認識されない

A メモリを増設しても「東芝PC診断ツール」などでメモリ容量の数値が変わらなかった場合、パソコンが増設メモリを認識していない可能性があります。
『応用にチャレンジ 2章 周辺機器の接続』を参照して、増設メモリを取りはずしてから、もう1度取り付けてください。

【フロッピーディスク】

＊購入したモデルによって、フロッピーディスクドライブは別売りになります。

Q フロッピーディスクに書き込み（データの保存）ができない

A フォーマットされていないフロッピーディスクには、書き込み（データの保存）ができません。
フォーマットを行ってください。本製品でフォーマット可能な形式は1.44MBのみになります。

A フロッピーディスクのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。
フロッピーディスクを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。

A フロッピーディスクの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。
次のいずれかの操作を行ってください。

- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やしてから、やり直す
  フロッピーディスクから削除したファイルやフォルダを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行ってください。
- 空き容量が十分にある別のフロッピーディスクを使用する

Q ファイルを開こうとすると「読み込みエラー」や「ディスクエラー」が表示された

A フロッピーディスクに何らかの問題がある可能性があります。

次の手順でチェックしてください。

① [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする

② [3.5 インチ FD（A：)] をクリックする

③ メニューバーから [ファイル] → [プロパティ] をクリックする

④ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする

⑤ [チェック ディスクのオプション] で [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする（ ☑ ）
　[ファイル システムエラーを自動的に修復する] にチェック（ ☑ ）を付けておくと、エラーを自動的に修復します。

⑥ [開始] ボタンをクリックする
　ディスクチェックを開始します。

A フロッピーディスクドライブの磁気ヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。

A 他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。

問題が解決しない場合は、フロッピーディスクドライブが故障している可能性があります。

Q フロッピーディスクのフォーマットができない

A 「Norton AntiVirus」の「Auto-Protect」を有効にしているとき、未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットできない場合があります。

次の手順で「Auto-Protect」を無効にしてフォーマットしてください。

① 通知領域の [Norton AntiVirus] アイコン（ ）をダブルクリックする

② [Norton AntiVirus] 画面で [オプション] をクリックする

③ [Norton AntiVirus オプション] 画面で [Auto-Protect を有効にする] のチェックをはずす

④ [OK] ボタンをクリックする

フォーマット後は手順③で [Auto-Protect を有効にする] をチェックし、「Auto-Protect」を有効にしておくことをおすすめします。

Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる

A Windows フォーマットをされていないフロッピーディスクをフォーマットする場合、時間がかかります。

Q 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない

A F12キーを押したまま電源スイッチを押して、表示されたアイコンの中からフロッピーディスクドライブを←→キーで選択し、Enterキーを押すと、起動ドライブを一時的にフロッピーディスクドライブに変更できます。

【dynabook VX1 シリーズの場合】
電源スイッチを押し、電源を入れた直後（「dynabook」画面が表示されている間）にF12キーを押します。F12キーから指を離すと、［Boot Dvices］画面が表示されます。表示された項目の中から［Removable Devices］：フロッピーディスクドライブを↑↓キーで選択し、Enterキーを押すと、起動ドライブを一時的にフロッピーディスクドライブに変更できます。

A 「東芝 HW セットアップ」で起動ドライブの設定を変更できます。
次の手順で変更してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする
② ［東芝 HW セットアップ］をクリックする
③ ［OS の起動］タブで［OS の起動］を［FDD］が最初になるように設定する
④ ［OK］ボタンをクリックする

次回から、電源を入れると、フロッピーディスクドライブから起動します。

A 起動用フロッピーディスクが壊れている可能性があります。
壊れていない別の起動用フロッピーディスクを使用してください。

【アプリケーション】

Q アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。

終了後、もう 1 度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

① Ctrl＋Alt＋Delキーを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。
［Windows のセキュリティ］画面が表示された場合は、［タスクマネージャ］ボタンをクリックしてください。

② ［アプリケーション］タブで［応答なし］と表示されているアプリケーションをクリックする

③ ［タスクの終了］ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

④ ［Windows タスクマネージャ］画面で［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

Q BeatJam が起動できない

（OMG ファイル、MP3 ファイル、WMA ファイル、WAV ファイル、CD Audio トラックをダブルクリックしても、BeatJam で再生できない場合）

A Windows Media Player の初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、BeatJam が起動するように設定してください。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［JUSTSYSTEM アプリケーション］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックする
BeatJam が起動します。

② ツールバーから［メニュー］→［オプション］を選択する

③ ［関連付け］タブで［OpenMG ファイル(omg)］、［MP3 ファイル(mp3)］、［Windows Media Audio ファイル(wma)］、［WAV ファイル(wav)］、［CD Audio トラック(cda)］をチェックする

④ ［OK］ボタンをクリックする

【メッセージ】

Q 画面に「Password=」または［Password］画面が表示された

A パスワードの入力による認証が必要です。

次の操作を行ってください。

①「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで登録したパスワードを入力し、Enterキーを押す

【dynabook VX1シリーズの場合】

①「東芝パスワードユーティリティ」で登録したパスワードを入力し、Enterキーを押す
あらかじめ「東芝パスワードユーティリティ」で作成したトークンをSDカードスロットに挿入しても認証できます。

パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスク、トークンまたはパスワードファイルを使用してください。購入したモデルによって使用できるメディアなどが異なりますので、『応用にチャレンジ 5章 システム環境の変更』で確認してください。

キーフロッピーディスク、トークンまたはパスワードファイルがない場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」「パスワードが誤っています。」と表示された

A 入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。

Caps Lock LEDを確認してください。必要に応じてShift+Caps Lock英数キーを押して入力の状態を切り替え、もう1度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。

次の操作を行ってください。

① 電源スイッチを5秒以上押し、パソコンを強制終了する

② 再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。

③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、Enterキーを押す
Windows が起動します。

Q 「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」「Press[F1]Key to set Date/Time.」と表示された

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて『応用にチャレンジ 3章 バッテリ駆動』

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

① F1キーを押す
BIOS セットアップ画面が表示されます。

② ↑↓←→キーを使って、[SYSTEM DATE/TIME] の [Date] を選択し、Spaceキーで日付を設定する

③ 手順②と同様に [Time] で時刻を設定する

④ Fn+→キーまたはEndキーを押す
確認のメッセージが表示されます。

⑤ Yキーを押す
設定内容が有効になり、BIOS セットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

Q 「0271:Check date and time settings.」「0251:CMOS checksum is inconsistent.」と表示された

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて『応用にチャレンジ 3章 バッテリ駆動』

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

① [Run Setup] ボタンをクリックする
BIOS セットアップ画面が表示されます。
(←)(→)キーを使って [Run Setup] を選択し、(Enter)キーを押してもBIOS セットアップ画面を表示できます。

② (↑)(↓)キーを使って [System Date] を選択し、(Space)キーを使って日付を設定する
月、日、年の切り替えは(Tab)キーで行います。

③ 手順②と同様に [System Time] で時刻を設定する
時、分、秒の切り替えは(Tab)キーで行います。

④ (F10)キーを押す
確認のメッセージが表示されます。

⑤ (←)(→)キーで [Yes] を選択して、(Enter)キーを押す
パソコンが再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。
Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について
『さあ始めよう 1章 4 電源を切る／入れる』

Q 「システムは休止状態からの復帰に失敗しました」と表示された

A 休止状態が無効になったというメッセージです。
電源を切る前の状態は再現できません。
[復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます] を選択し、(Enter)キーを押してください。
Windows が起動します。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
  Press any key to restart」

A フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。
解決しない場合は、巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。
次のいずれかの操作を行ってください。

● コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
Alt＋Enterキーを押してください。

● コマンドプロンプト画面を終了する
① E X I Tとキーを押す
② Enterキーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

【その他】

Q セーフモードで起動した

A 周辺機器のドライバやアプリケーションが原因で不具合を起こしている可能性があります。
次の手順でエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

① [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
② (C：) ドライブをクリックする
③ メニューバーから [ファイル] → [プロパティ] をクリックする
④ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする
⑤ [チェック ディスクのオプション] で [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする（ ✓ ）
⑥ [開始] ボタンをクリックする
チェックには時間がかかります。
チェック後パソコンを再起動し、通常起動するか確認してください。

上記の操作を行っても正常に起動しない場合は、東芝PCダイヤルに連絡してください。

参照 セーフモードについて《サイバーサポート》

Q 引っ越したときの手続きは？

A 次の変更を行ってください。

1 インターネットに接続する設定を変更する

インターネットに接続する電話回線を、引っ越し後に使用する電話回線に変更してください。

また、プロバイダのアクセスポイントは、引っ越し先の住所に最も近いアクセスポイントに変更することを推奨します。

詳しくは、契約しているプロバイダに問い合わせてください。

設定は次の手順で変更できます。

● **発信元の電話番号の設定**

① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする

② [電話とモデムのオプション] をクリックする
[電話とモデムのオプション] 画面が表示されます。

③ [ダイヤル情報] タブでダイヤル元の情報を変更する
使用する電話回線について、次の点を確認してください。

- 登録名
引っ越し先を新たに登録したい場合は、[新規] ボタンをクリックしてください。
- ダイヤル元の市外局番　● 外線発信番号　● ダイヤル方法

④ [OK] ボタンをクリックする

● **接続先の電話番号の設定**

① [スタート] → [接続] → [XX（接続先）] をクリックする
[XX（接続先）へ接続] 画面が表示されます。

② [プロパティ] ボタンをクリックする
[XX（接続先）プロパティ] 画面が表示されます。

③ [全般] タブで [電話番号] 欄に、これから使用したいアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する

④ [XX（接続先）プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

⑤ [ダイヤル] ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。
すぐに接続する必要がない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2 東芝PCお客様登録に登録した住所、電話番号などを変更する

● ホームページから変更する

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いいたします。

① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する

② ページ左側の［東芝ID（TID)］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様の個人ページにログインします。

③ ページ右上の「登録情報変更」から変更をする

● 電話で変更する

「東芝ID事務局（お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL／0570-09-1048
受付時間／10：00～17：00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

3 契約しているプロバイダや、Windowsや各アプリケーションのユーザ登録などに登録した住所、電話番号などを変更する

詳しくは、各登録先に問い合わせてください。

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 アプリケーションの強制終了の方法「本章 アプリケーション - Q. アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行ってください。

A Windowsを強制終了し、再起動してください。
システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

参照 Windowsの強制終了の方法「本章 電源を入れるとき／切るとき - Q.［終了オプション］や［シャットダウン］から電源が切れない」

強制終了後、パソコン本体の電源を入れてください。

Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある

A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

参照 ウイルスチェックソフト「2章 1 ウイルスチェックをする」

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから購入店、または保守サービスに相談してください。
なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理の問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1 サイバーサポートで調べる

サイバーサポートには、パソコン内のオンラインヘルプや電子マニュアルを検索する機能があります。知りたい内容がこのQ&A集に載っていない場合は、サイバーサポートで検索してみてください。

参照 サイバーサポート「1章 1-❷ サイバーサポートで調べる」

2「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。

参照 dynabook.com「1章 1-❸ dynabookのサポート情報を見る」

「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明の後のアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

3 東芝PCダイヤルに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCダイヤルでお答えします。巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝PCダイヤルに連絡してください。

参照 東芝PCダイヤル『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝PCダイヤルに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口に問い合わせてください。

参照 アプリケーションの問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口に問い合わせてください。

参照 周辺機器の問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

Q パソコンを廃棄したい

A 本製品を廃棄するときは、家庭で使用している場合と企業で使用している場合とで、廃棄方法が異なります。
また、ハードディスク上のデータを消去する必要があります。
詳しくは、「5章 2 廃棄・譲渡について」を確認してください。

4章

再セットアップ

これまでに説明してきたトラブル解消方法では解決できないとき、最後に行うのがパソコンの再セットアップです。再セットアップすることで、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。よく読んでから行ってください。

1 再セットアップとは

同梱されているリカバリ DVD を使って、システムやアプリケーションを購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

1 再セットアップが必要なとき

次のようなときには、「1 章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

再セットアップが必要な場合	再セットアップ方法
ハードディスクをフォーマットしてしまった	システムを復元する
ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった	
電源を入れても、システム（Windows）が起動しない	
プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう 1 度インストールしたい	アプリケーションやドライバごとに再インストールする

2 再セットアップ方法

再セットアップには、次の方法があります。目的にあった再セットアップ方法を選んでください。

【 システムを復元する 】

システムを購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションを復元します。

参照 詳細について「本章 2 システムの復元」

【 アプリケーションやドライバごとに再インストールする 】

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールできます。

参照 詳細について「本章 3 アプリケーションを再インストールする」

3 再セットアップする前に

1 トラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「1 章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

2 データのバックアップをとる

システムの復元をすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとって保存してください。
また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべて購入時の状態に戻ります。システムの復元後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
バックアップは、普段から定期的に行っておくことを推奨します。

参照 バックアップについて「2 章 2 バックアップをとる」

4 リカバリ DVD について

本製品には次のリカバリ DVD が同梱されています。

- リカバリ DVD-ROM
- アプリケーション DVD-ROM

リカバリ DVD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。
リカバリ DVD は本製品専用です。他のパソコンで再セットアップを実行しないでください。

2 システムの復元

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
Office搭載モデルおよびOneNote搭載モデルでは、さらに同梱のCD-ROMで再インストールする必要があります。

参照 詳細について「本章 3-❷ Microsoft Officeを再インストールする」

1 はじめる前に

システムの復元を行う前に、次の準備を行ってください。

【 必要なもの 】

- リカバリ DVD-ROM
- 『困ったときは』(本書)、『さあ始めよう』、『使ってみよう』、『応用にチャレンジ』

【 準備 】

- 必要なデータを保存する
  システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。

参照 バックアップについて「2章 2 バックアップをとる」

  ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や電源を入れてもシステムが起動しない場合は、データを保存することができません。システムの復元を行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

- パソコンのハードウェア構成を購入時の状態に戻す
  フロッピーディスクドライブやマウス、増設したハードディスクドライブやメモリなどを取りはずしてください。

参照 機器の取りはずし『応用にチャレンジ 2章 周辺機器の接続』

2 システムを復元する

システムを復元する方法を説明します。手順をよく確認してから行ってください。

1 操作手順

1 AC アダプタと電源コードを接続する

2 「リカバリ DVD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

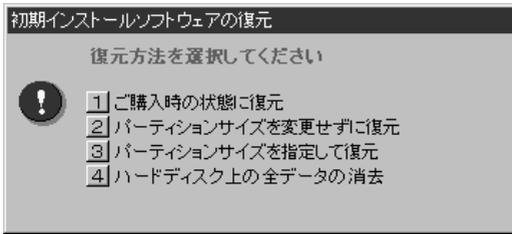
3 キーボードのF12キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

dynabook VX1 シリーズの場合、電源スイッチを押し、電源を入れた直後(「dynabook」画面が表示されている間)にF12キーを押します。F12キーから指を離すと、[Boot Devices] 画面が表示されます。

4 →または←キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、Enterキーを押す

dynabook VX1 シリーズの場合、↑または↓キーで [CD/DVD-ROM Drive] を選択し、Enterキーを押します。
[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。

5 購入時の状態に復元する場合は1キーを、現在のパーティション設定をそのまま使用する場合は2キーを、パーティション設定を指定する場合は3キーを押す

ハードディスクを分割しないでC ドライブのみとする場合は、1キーを押してください(推奨)。パーティションとは、1 台のハードディスクを分割したそれぞれの部分のことです。現在複数のパーティションを設定している場合で、パーティションサイズを変更しないときは2キー、変更するときは3キーを押してください。
4キーを押すと、ハードディスク上のデータはすべて消失します。詳細は、「5 章 2-❷-4 ハードディスクの内容をすべて消去する」を参照してください。

- (1)キーを押した場合
  「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
  手順 6 に進んでください。
- (2)キーを押した場合
  「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
  手順 6 に進んでください。
- (3)キーを押した場合
  「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
  ① (Y)キーを押す
  ［パーティションサイズの指定］画面が表示されます。
  ② (←)または(→)キーを使ってパーティションのサイズを指定する
  ここではハードディスクに対する C ドライブのサイズを設定します。
  ディスク容量が残った場合は管理ツールで設定してください。

  参照 設定方法について「本項 2 パーティションを設定する」

  ③ (Enter)キーを押す
  「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。
  手順 7 に進んでください。

6 (Y)キーを押す

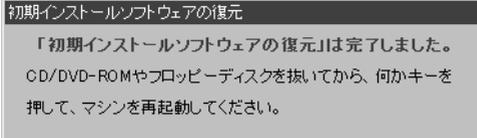
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。

7 Ⓨキーを押す

処理を中止する場合は、Ⓝキーを押してください。
復元が実行されます。復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が 100%まで伸びた後、もう 1 度0%から始まります。グラフが２度目に 100%に達すると完了です。

復元が完了すると、次の画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。
CD/DVD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを押して、マシンを再起動してください。

8 DVD を取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について『さあ始めよう 1 章 3 Windows のセットアップ』

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続『応用にチャレンジ２章 周辺機器の接続』

参照 アプリケーションのインストール
『応用にチャレンジ４章 アプリケーションについて』

【 Office 搭載モデルおよび OneNote 搭載モデルの場合 】

「Microsoft® Office Personal Edition 2003」*1 および「Microsoft® Office OneNote™ 2003」*2 は、以上の手順では復元されません。
Windows のセットアップ後に、同梱の CD-ROM で再インストールしてください。

参照 詳細について「本章 3-❷ Microsoft Office を再インストールする」

＊1：Office 搭載モデルのみ。
＊2：OneNote 搭載モデルのみ。

2 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してシステムを復元した場合は、復元後すみやかに次の設定を行ってください。

1 コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする

2 ［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［ 管理ツール］をクリックする

4 ［ コンピュータの管理］をダブルクリックする

5 左画面の［ディスクの管理］をクリックする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする

7 表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。

・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】

1 メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

3 アプリケーションを再インストールする

アプリケーションを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

Office 搭載モデルおよび OneNote 搭載モデルでは、システムの復元後に同梱の CD-ROM で再インストールする必要があります。「本節 ❷ Microsoft Office を再インストールする」を確認してください。

1 アプリケーションを再インストールする

アプリケーション DVD-ROM から、アプリケーションを再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】

- アプリケーション DVD-ROM
- 『困ったときは』（本書）、『応用にチャレンジ』

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 「プログラムの追加と削除」について
『応用にチャレンジ 4 章 アプリケーションについて』

1 操作手順

1 アプリケーション DVD-ROM をセットする

［Disk1］画面が表示されます。
DVD をセットしても［Disk1］画面が表示されない場合は、次の手順を行ってください。

① ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

② 「d:¥setup」と入力し、［OK］ボタンをクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

アプリケーションやドライバのセットアップメニュー画面が表示されます。
アプリケーションやドライバのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

初めて起動したときは、［ドライバ］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し①、画面右側の「XXXのセットアップ」をクリックする②

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の青い下線の引かれている言葉をクリックしてください。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［開く］ボタンをクリックしてください。

2 Microsoft Officeを再インストールする

「Microsoft® Office Personal Edition 2003」*1 および「Microsoft® Office OneNote™ 2003」*2 を再インストールする方法を説明します。
＊１：Office 搭載モデルのみ。
＊２：OneNote 搭載モデルのみ。

【 必要なもの 】

同梱の「Microsoft® Office Personal Edition 2003」または「Microsoft® Office OneNote™ 2003」と書いてあるパッケージに、必要なものが一式入っています。

「Microsoft® Office Personal Edition 2003」一式*1

- Microsoft® Office Personal Edition 2003 CD-ROM
- Microsoft® Office Home Style+ CD-ROM
- Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド

「Microsoft® Office OneNote™ 2003」一式*2

- Microsoft® Office OneNote™ 2003 CD-ROM
- Microsoft® Office OneNote™ 2003 お使いになる前に

再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。
再インストール方法とセットアップ方法の詳細は、『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』、『Microsoft® Office OneNote™ 2003 お使いになる前に』を確認してください。

「読み上げ」および「声で入力」の組み込み方法は、『LaLaVoice ヘルプ』の「マクロのインストール／アンインストール」を確認してください。

【「手書き入力パッド」を使用するとき 】

「Microsoft® Office Personal Edition 2003」を再インストールした場合、Microsoft Office WordやMicrosoft Office Excelなどのアプリケーションを使用するときに、IMEツールバーの［手書き］ボタン -［手書き入力パッド］をクリック（または［手書き入力パッド］ボタンをクリック）すると、「言語の入力システムが正常にインストールされていることを確認してください」という警告メッセージが表示される場合があります。
言語の入力システム（MS-IME）は正常にインストールされており、動作上の問題はありませんので、「今後、このメッセージを表示しない」のチェックボックスをチェックして、［OK］ボタンをクリックしてください。

5章

アフターケア

保守や修理などアフターケアを行う保守サービスを利用するときについて。
また、バッテリパックの廃棄やパソコン本体の廃棄・譲渡を行う場合について知っておいて欲しいことなどを説明しています。

1 アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへの相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。
保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。
保守・修理に出す前に、作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールのアドレス帳
- インターネットのお気に入り　など

操作方法については、「2 章 2 バックアップをとる」を確認してください。

消耗品について

【 バッテリパック 】

バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。
別売りのバッテリパックと交換する前に、必ず指定の製品（型番）を確認してください。

参照 バッテリパックについて『応用にチャレンジ 3 章 バッテリ駆動』

【 バックライト用蛍光管 】

内部液晶ディスプレイに取り付けられているバックライト用蛍光管は消耗品となります。使用を続けるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。その場合は、使用している機種を確認後、購入店、または保守サービスに相談してください。

付属品について

付属品については、株式会社 IT サービス（本社：044-540-2574）まで問い合わせてください。

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から 6 年 6ヶ月です。

2 廃棄・譲渡について

1 バッテリパックについて

貴重な資源を守るために、不要になったバッテリパックは廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ持ち込んでください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください

Li-ion

【 バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先 】

社団法人 電池工業会
TEL ／ 03-3434-0261
ホームページ／ http://www.baj.or.jp

2 パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、家庭と企業では廃棄方法が異なります。以下の要領にて処理してください。
（本製品は、LCD 表示部に使用している蛍光管に水銀が含まれています。また、鉛を含む部品が使われています。）

【 PC リサイクルマークについて 】

リサイクル

PC リサイクルマーク
製品本体の型番を表示しているシール（本体裏面）に印刷表示します。

1 家庭でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、東芝の家庭系使用済みパソコン回収受付窓口へお申し込みください。
東芝は、PC リサイクルマークが表示されている東芝製パソコンは無料で回収と適切な再資源化処理を実施します。

【 パソコン回収受付窓口 】

東芝 dynabook リサイクルセンタ

【 回収申込方法 】

● 東芝ホームページよりお申し込みの場合
ホームページ／ http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm（24 時間受付）

● 電話にてお申し込みの場合
東芝 dynabook リサイクルセンタ
電話番号 ： 043-303-0200
受付時間 ： 10：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX ： 043-303-0202（24 時間受付）

【 回収・再資源化対象機器 】

ノートパソコン、デスクトップパソコン（本体）、液晶ディスプレイ／液晶一体型パソコン、ブラウン管（CRT）ディスプレイ／ブラウン管（CRT）一体型パソコン

＊ 出荷時に同梱されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカ、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンタ他）、マニュアル、CD-ROM などの媒体は回収の対象外です。

2 企業でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を実施しております。
PC リサイクルマーク表示のある東芝製パソコンを産業廃棄物として回収・処理を行う場合の費用については、東芝パソコンリサイクルセンターにお問い合わせください。

【 問い合わせ先 】

東芝パソコンリサイクルセンター
電話番号 ： 045-510-0255
受付時間 ： 9：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX ： 045-506-7983（24 時間受付）

【 東芝ホームページでご紹介 】

ホームページ／ http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm

3 パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに使われているハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

◆ データを「ごみ箱」に捨てる
◆「削除」操作を行う
◆「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
◆ ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
◆ 添付のリカバリ DVD-ROM を使い、購入時の状態に戻す

などの作業をしますが、これらの作業では、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、実際のデータは、まだ残っているのです。
したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
お客様が、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をする必要があります。

本製品では、パソコン上のデータをすべて消去することができます。

参照 「本項４ ハードディスクの内容をすべて消去する」

この機能はWindowsなどのOSによるデータ消去や初期化とは違い、ハードディスクの全領域にデータを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、本機能を使用してデータを消去した場合でも、特殊な装置の使用によりデータを復元される可能性はゼロではありません。あらかじめご了承ください。

データ消去については、次のホームページも参照してください。
URL　http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm

４ ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。
なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできないので、注意してください。

ハードディスクの内容をすべて消去するには、次のように行ってください。

1 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

2 「リカバリDVD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

3 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

dynabook VX1シリーズの場合、電源スイッチを押し、電源を入れた直後（「dynabook」画面が表示されている間）に(F12)キーを押します。(F12)キーから指を離すと、［Boot Devices］画面が表示されます。

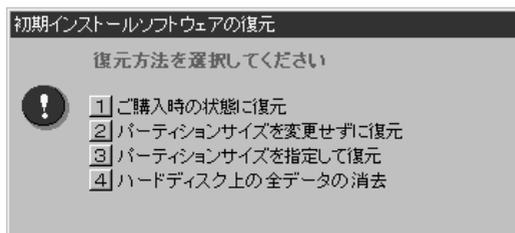
4 (→)または(←)キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、(Enter)キーを押す

dynabook VX1シリーズの場合、(↑)または(↓)キーで［CD/DVD-ROM Drive］を選択し、(Enter)キーを押します。

［初期インストールソフトウェアの復元］画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

復元方法を選択してください

1 ご購入時の状態に復元
2 パーティションサイズを変更せずに復元
3 パーティションサイズを指定して復元
4 ハードディスク上の全データの消去

5 ④キーを押す

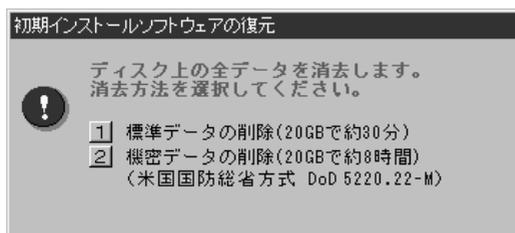
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
処理を中止する場合は、Ⓝキーを押してください。

6 Ⓨキーを押す

データの消去方法を選択する画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

ディスク上の全データを消去します。
消去方法を選択してください。

1 標準データの削除(20GBで約30分)
2 機密データの削除(20GBで約8時間)
(米国国防総省方式 DoD 5220.22-M)

7 目的にあわせて、①または②キーを押す

①キーを押すと、ハードディスクのすべてのセクタに固定値で上書きします。
②キーを押すと、ハードディスクのすべてのセクタに、類推されにくい乱数を使って複数回上書きします。①よりも時間はかかりますが、データを読み取られる危険性がより低くなります。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
処理を中止する場合は、Ⓝキーを押してください。

8 Ⓨキーを押す

メッセージが表示され、データの消去処理が開始されます。

5 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する

② ページ左側の［東芝 ID（TID)］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様の個人ページにログインします。

③ ページ右上の「登録情報変更」から削除をする

● 電話で削除する

「東芝 ID 事務局（お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
  T EL ／0570-09-1048
  受付時間／10：00 ～ 17：00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関する問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

法人のお客様の場合、サービス内容が家庭のお客様の場合と異なります。
詳しくは、次のホームページを参照してください。
URL https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

付録

1 アプリケーションの問い合わせ先

＊2004年1月現在の内容です。
各社の事情で受付時間などが変更となることがあります。

アプリケーションの問い合わせ先は、次のとおりです。
各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

＊購入したモデルによって、添付してあるアプリケーションが異なります。

Adobe Reader／Bluetooth Stack for Windows by Toshiba／CD/DVD静音ユーティリティ／ConfigFree／Fn-esse／Internet Explorer／InterVideo WinDVD／Java 2 Runtime Environment／LaLaVoice／Microsoft Office OneNote／Outlook Express／PadTouch／Windows Media Player／簡単インターネット／くるくる壁紙チェンジャー／サイバーサポート／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝SDメモリカードフォーマット／TOSHIBA Smooth View／東芝コントロール／東芝省電力／東芝パスワードユーティリティ／内蔵モデム用地域選択ユーティリティ／ぱらちゃん
東芝（東芝PCダイヤル） ナビダイヤル 0570-00-3100（サポート料無料） 受付時間　：　9:00～19:00（年中無休） システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。 なお、システムメンテナンスの日程については、dynabook.com上にてお知らせいたします。 電話番号はお間違えのないようお確かめのうえ、おかけくださいますようお願いいたします。お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。 拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。 ご注意 ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。 ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

<table>
<tr><th>Microsoft Office Excel／Microsoft Office Home Style+／
Microsoft Office Outlook／Microsoft Office Word</th></tr>
<tr><td>マイクロソフト アジア リミテッド 無償サポート

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ
受付時間　：　9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日）
10:00〜17:00（土曜日、日曜日）
（弊社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます。）

●基本操作に関するお問い合わせ
受付時間　：　9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日）
10:00〜17:00（土曜日）
（弊社休業日、年末年始、祝祭日を除く。）

●お問い合わせ
ＴＥＬ　：　東京：03-5354-4500
大阪：06-6347-4400
ＵＲＬ　：　http://support.microsoft.com/
※電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。
備考　：　弊社サポートWeb上からオンラインによるお問い合わせも可能です。
http://www.microsoft.com/japan/support/supportnet/onlinesr.asp

※次の情報をお手元に用意してください。
郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
詳細は、製品添付の「お使いになる前に」をご覧ください。</td></tr>
</table>

The翻訳インターネット
The翻訳サポートセンタ ＴＥＬ　：フリーダイヤル 0120-1048-37 ＊携帯電話、PHSをご利用の場合：03-5465-7290 受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝日ならびに本サポートセンタ臨時休業日を除く） E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp ホームページ：http://hon-yaku.toshiba-sol.co.jp/ ※「The翻訳インターネット」は、AOL専用ブラウザおよび、メールソフトに連携させる　ことはできません。
プロアトラスW2 for TOSHIBA
株式会社アルプス社 お客さま相談センター ＴＥＬ　：03-5319-3719 受付時間　：10:00～17:00 （土・日・祝祭日、休業日を除く） ＦＡＸ　：03-5319-3720（24時間受付） E-mail　：support@alpsmap.co.jp 製品情報のサイト：http://www.alpsmap.co.jp/
駅すぱあと
株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター ＴＥＬ　：03-5373-3522 受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く） ＦＡＸ　：03-5373-3523 E-mail　：support@val.co.jp ＊ユーザー登録されたお客様が対象となります。 ホームページ：http://ekiworld.net/
筆ぐるめ
富士ソフトABC株式会社 インフォメーションセンター ＴＥＬ　：03-5600-2551 ＦＡＸ　：03-3634-1322 受付時間　：9:30～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝祭日・会社休業日を除く） ただし、11/1～12/30の間は無休サポート （受付時間：9:30～17:00　12/30のみ12:00まで） E-mail　：users@fsi.co.jp ホームページ：http://www.fsi.co.jp/product ※電話がつながりにくい場合は、E-mail、FAXをご利用いただくことをおすすめします。 ※マニュアルが必要な場合、オーム社から発行されている「筆ぐるめ　操作マニュアル」を書店でお求めください。 ●マニュアル購入に関するお問い合わせ先 株式会社オーム社 販売課　TEL：03-3233-0643　FAX：03-3293-6224

Norton Internet Security
●技術的なお問い合わせ シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター 本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートチケットをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。 ＊テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。 ユーザー登録 ホームページ ： http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/ ●ユーザー登録およびご購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ カスタマーサービスセンター 営業時間 ： 10:00～17:00（祝祭日を除く月～金） ＴＥＬ ： 0570-054115（ナビダイヤル） ＦＡＸ ： 0570-054116（ナビダイヤル） ＊ナビダイヤルがご利用できない場合、次の番号をご利用ください。 ＴＥＬ：03-5458-4730 ＦＡＸ：03-5458-4762 ●期限切れによる更新サービスの延長申し込みに関するお問い合わせ シマンテックストア ホームページ ： http://www.symantecstore.jp/oem/toshiba/ 営業時間 ： 10:00～17:00（祝祭日を除く月～金） ＴＥＬ ： 0570-005557（ナビダイヤル） ＦＡＸ ： 0570-005558（ナビダイヤル） ＊ナビダイヤルがご利用できない場合、次の番号をご利用ください。 ＴＥＬ：03-3476-1192 ＦＡＸ：03-5836-3871
デジカメWalker（Ulead iPhoto Express）
ユーリードテクニカルサポート ＴＥＬ ： 03-5491-5662 受付時間 ： 10:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始はお休みさせていただきます） ホームページ ： http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm （フォームからのお問い合わせも可能です）

InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum／WinDVR
インタービデオジャパン ユーザーサポート お問い合わせの前に弊社ホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。 TEL　：　03-5447-0576 FAX　：　03-5447-6689 URL　：　http://www.intervideo.co.jp/ e-mail　：　techsupp@intervideo.co.jp 受付時間　：　月～金 9:30～17:00（12:00～13:30および祝祭日を除く） （夏期・年末特定休業日、弊社休業日、祝祭日を除く）
Drag'n Drop CD+DVD
ESJカスタマーセンター オンラインサポートアドレス　：　http://www.ddcd.jp/dd3/toshiba/cd/tosupport.html 受付時間　：　オンラインにて24時間受付 ※17時30分まで受付分を当日回答、以降は翌営業日に回答 （回答は、土・日・祝日ならびに会社休業日を除きます）
フレッツADSL
〈登録に関するお問い合わせ〉 東芝ヘルプデスクセンター TEL　：　043-278-7522 受付時間　：　9:00～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始および弊社特別休日を除く）
Yahoo! BB
Yahoo! BBカスタマーサポートセンター TEL　：　0120-919-820 携帯電話・PHS　：　03-6688-5001（東京）通話料金はお客様負担となります。 受付時間　：　24時間（年中無休／施設点検日およびメンテナンス日は休業） ＊23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故障やネットワーク障害についてのお問い合わせのみ受け付けております。 E-mail　：　help@ybb-support.jp ホームページ　：　http://bb.yahoo.co.jp
cocoa
NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント TEL　：　0120-506506 受付時間　：　午前9時～午後9時：無休（年末年始を除きます） URL　：　http://www.ntt.com/shop/

ekitanExpress Online
ekitanExpress Onlineお問い合わせ窓口 電子メールでのみ受けつけております。 受付時間　：24時間 ※Webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00〜18:00）の対応とさせていただいております。 また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。 E-mail　：express-support@ekitan.com ホームページ　：http://express.ekitan.com/
BeatJam、ホームページミックス /R.2、マイペンシル /R.2
●ユーザー登録に関するお問い合わせ ユーザー登録ご相談窓口 TEL　：東京　03-5412-2624 大阪　06-6886-2624 受付時間　：平日　10:00〜19:00、土・日・祝日　10:00〜17:00 ＊弊社特別休業日を除く ホームページ　：http://www.justsystem.co.jp/service/ ●製品の使い方に関するお問い合わせ ジャストシステムサポートセンター ＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。 TEL　：東京　03-5412-3980 大阪　06-6886-7160 受付時間　：平日　10:00〜19:00、土・日・祝日　10:00〜17:00 ＊弊社特別休業日を除く ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

2 プロバイダの問い合わせ先

＊ 2004 年 1 月現在の内容です。
各社の事情で受付時間などが変更となることがあります。

「簡単インターネット」から契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

AOL
株式会社ドコモAOL AOLメンバーサポートセンター ＴＥＬ　：0120-275-265 ＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400 受付時間　：9:00～21:00（年中無休） FAX　：0120-379-930（自動案内） E-Mail　：aoljapanms@aol.com
@nifty
@niftyブロードバンド導入ご相談窓口 ＴＥＬ　：0120-816-042（フリーダイヤル） ＊携帯電話／PHS／海外の場合：03-5753-2374 （電話料金はお客様ご負担となります。） お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。 受付時間　：毎日 9:00～21:00 ＊ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。 E-mail　：https://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm ホームページ　：http://www.nifty.com/support/madoguchi/
BIGLOBE
NEC BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク ＴＥＬ　：0120-86-0962（9:00～22:00 365日受付） 携帯電話、PHS、CATV電話のかたはこちらへ　03-3947-0962 ＊電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。 ホームページ　：http://support.biglobe.ne.jp/
DION
KDDIカスタマーサービスセンター ●サービス内容に関するお問合わせ ＴＥＬ　：0077-7192（無料／9:00～21:00／土・日・祝日も受付中） ●接続・設定などに関するお問合わせ ＴＥＬ　：0077-7084（無料／24時間受付／土・日・祝日も受付中） メールでのお問い合わせはホームページから：http://cs119.kddi.com/dion/

<table>
<tr><td>infoPepper</td></tr>
<tr><td>東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口
TEL：044-201-0450
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00
（当社休業日を除く月曜～金曜）
FAX：044-246-1131
FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）
E-mail：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ：http://www.pep.ne.jp/</td></tr>
<tr><td>OCN</td></tr>
<tr><td>●OCNサービス全般のお問い合わせ、入会に関するご相談
OCNヘルプデスク
TEL：0120-047-359
受付時間：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く
E-mail：info@ocn.ad.jp

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先
OCNカスタマサポート
TEL：0120-047-860
FAX：0120-047-861
受付時間：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く
E-mail：support@ocn.ad.jp

ホームページ：http://www.ocn.ne.jp</td></tr>
</table>

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ
ダイヤルアップコース

TEL　：0088-86（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス ※9:00～18:00はオペレータ受付も可能）

快適ブロードバンドコース

TEL　：0088-222-375（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス ※9:00～18:00はオペレータ受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ
ダイヤルアップコース

TEL　：0088-85（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス ※9:00～18:00はオペレータ受付も可能）

快適ブロードバンドコース

TEL　：0088-228-325（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス ※9:00～18:00はオペレータ受付も可能）

●E-mail・FAXによるお問い合わせ

E-mail　：odn-support@odn.ad.jp（サービス案内）
tech-support@odn.ad.jp（接続サポート）
info-adsl@odn.ad.jp（ブロードバンドお問い合わせ）
ODN FAX BOX　：0088-218-586（無料）

POINT［POWERED INTERNET］

POINTコールセンター

TEL　：0081-1588
0120-719-033
受付時間　：9:00～21:00（平日）10:00～18:00（土日祝）
E-mail　：http://www1.poweredcom.net/dataqa/
ホームページ　：http://www.point.ne.jp

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

TEL　：03-3537-1325
受付時間　：10:00～18:30（土・日・祝日を除く）
FAX　：03-3537-1326
E-mail　：info@karugaru.net
ホームページ　：http://www.karugaru.net/

さくいん

トラブルチェックシート

東芝 PC ダイヤル（右ページ参照）では電話での dynabook の技術的な質問、お問い合わせにお答えいたします。円滑に対応させていただくために、次の内容をまとめ、お手元にお使いのパソコンをご用意のうえ、お問い合わせください。

Q.1 使用しているパソコンの型番は？
型番は本体裏面のラベルに記載されています。

Q.2 使用しているソフトウェア環境は？
Windows XP など、使用しているシステムとアプリケーションは？
システムのバージョンや CPU の種類は、「東芝 PC 診断ツール」（1 章 3-❶）の［基本情報］タブまたは［基本情報の表示］ボタンをクリックして確認してください。

Q.3 どのような症状が起こりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？
表示された場合、表示内容をお知らせください。

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？
□ 一度発生したが、その後発生しない　□ 常に発生する
□ 電源を切らないと発生するが、電源を切ってから再起動すれば発生しない
□ 電源を切ってから再起動しても必ず発生する　□ その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？
□ ある一定の操作をすると発生する
□ どんな操作をしても発生する　□ その他：

Q.8 インターネットや通信に関する相談の場合
プロバイダ名：　使用モデム名：
使用回線：□ ブロードバンド　□ ダイヤルアップ
□ 内線発信アリ　□ マイライン契約アリ　□ ISDN
□ 携帯／PHS　□ DSL ／ケーブル TV

Q.9 周辺機器に関する相談の場合
機器名（製品名）：　メーカー名：